

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	2.教育センター管理運営費			
項	1.教育総務費	細事業名				
目	4.教育センター費	担当課・係	教育センター	(執行課: 教育センター)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	488	要 求									488
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/学校で楽しく安心して学べるまちづくり/教育センターで学習状況調査							
	【学校教育課題の調査・研究に関する業務】	施策体系コード	03-02-01-10-10			事業番号	229-1			
	佐倉市教育ビジョンに基づき、学習指導要領の趣旨を生かした特色あるカリキュラムの編成や学力向上を図るための指導法の工夫など学校教育における教育課題に関する調査・研究を行います。また、生涯学習に関する調査も行い、効果的な教育の在り方を考察します。	総事業費	2,304千円			事業期間	平成18年度～平成22年度			
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度			
			420	420	488	488	488			

(事業実施に関する根拠法令)
佐倉市条例第三条(事業)第1項教育課題及び教育問題の調査、研究及び開発に関すること。

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 「学習状況調査」等学校教育における教育課題に関する調査および学習指導要領の趣旨を生かした特色あるカリキュラムの編成、学力向上を図るための指導法の工夫・研究を行う。	(事業の目的) 市内の小・中学校の児童生徒や教職員、保護者の教育課題についての調査研究の集計、分析、考察を行い、教育委員会の施策の改善を図る。	(事業の効果) 佐倉市の教育課題を把握するための調査研究を行い、新しい時代に対応し、佐倉市の特色を生かした教育の研究、開発を推進することができる。また、各学校の研究推進のための指導・助言を行ったり、児童生徒の学力向上を目指した指導法の改善のための調査・研究・開発を行うことにより、佐倉市の学校教育の充実が図られる。
(事業実施上の問題点) 佐倉市学習状況調査は、5回目となり定着が図られている。そのため、各学校における基礎学力向上のための取り組みも充実し、児童生徒の基礎学力も向上してきた。しかし、学んだことを活用する力や表現力・思考力では課題が残る。	(前年度からの見直し点) 学習状況調査は、基礎学力定着を目的に、国語と算数・数学で実施してきた。現在、国際社会における担い手として羽ばたく人材を育成していくためにも、英語の力を身につけることが重要である。そこで、中学校英語の調査を本格的に実施することにした。	(見積についての特記事項) 予算の見積もりについて、枚数や単価はざりざりのところで設定しており、これ以上の減額は困難な状況にある。